

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		Sun Kids		公表日		2025年 3月 25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6	1	子ども達が安全に過ごせる職員が配置されている。医療度の高い方もおり、基準以上の職員の配置をして対応している。	利用児数や状況に合わせた利用配置を継続	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	1	バリアフリーになっており、トイレ等も広く使いやすくなっている。壁の飾りも毎月替えることで季節の変化を感じられる。	転倒時のけが予防の為クッションマット使用中。段差がある為注意が必要。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		活動時間によって、BGMを変えている。子ども達が過ごす場所はクッションフロアで、電気コードも束ねる、等安全に配慮されている。利用後に清掃している。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		クールダウンや切り替えの為に使用出来ている。個別に必要に合わせて、個別の部屋を用意できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	2	ヒヤリハットはスタッフ全員へ伝達し、改善対策を話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	保護者の意見をもとに職員で、意見交換を行い業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	1	朝のミーティングで「何か困ったことはないか？」等、話しやすい環境をもうけており、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	6	事業所として、第三者評価を行っていない。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7	0	外部研修、内部研修等ともに開催、参加し職員の資質向上を図っている。外部研修を受ける際、会社から支援あり。受講しやすい環境がある。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	1	5領域に関連した支援プログラムを作成。R7年3月より公表している。	支援プログラムの内容が個々の個別支援計画につながるよう作成していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7	0	子どもの特性やニーズを把握し、日常生活の状況に関するアセスメントをもとに支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7	0	多機能種連携を、生かして意見交換を行い子どもにとって、一番良いことを考慮し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7	0	個々の支援計画を共有し、計画に沿って、最善支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	0	子どもの意見を尊重し、本人の能力や興味・関心を把握するだけでなく、フォーマルアセスメントを組み合わせることで情報を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	1	個々の利用児に合わせ要望をもとに支援計画を立案している。	アセスメントシートを活用し、発達に合わせた計画を立案している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	1	保育士を中心に話し合い、活動をおこなっている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	分担して活動の担当を分け、固定化しないようになっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別での制作や集団での音遊び、ゲーム、リハビリ等工夫して、支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼、朝の会で情報共有や打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	終了後ではないが、午睡などに振り返りやその都度、気付いた点を共有している。共有出来なかったときは後日実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援や児の様子等は記録に残し改善に努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月毎に見直しを行っている。必要時はさらに短期間で見直しを実施。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自己決定しやすいように選択肢を設けて自己決定を促している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	主治医による指示のもと医療ケアを行い、必要時連携している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校との情報共有を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	保育園や療育センター、他事業所と情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	同じ多機能型事業所内での移行のためスムーズに移行引継ぎが行える。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	療育センターと連携し必要時助言を受けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	保育園等地域の子供たちと交流する機会がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	基幹センターによる地域会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡帳にて利用中の状況等家族に伝えている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	家族と情報共有し、必要時支援方法についての相談を受けたり助言・指導を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	連絡帳ツールで家族の意向を確認している。支援計画は保護者の意向も考慮し作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要時相談に応じて面談を行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	家族交流会、クリスマス会、餅つき大会を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	事業所内で話し合い対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的におたよりを発行している。Instagramに投稿し、活動の様子やイベントなどの情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分に留意している。	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	選択しやすい問いかけや表情などの表出をくみ取っている。声掛けだけでなく視覚的なもの(絵カード)などを用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	地域コミュニティや地域イベントに参加している。地域交流としてのイベントを開催している。	引き続き地域住民に開かれたイベントを開催する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	それぞれのマニュアルを作成し、月に一度のペースで、火災・水害・地震・防犯等の訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCP策定しており、定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	服薬依頼書にて、服薬・てんかん発作時の薬剤を確認し、薬の変更時はすぐに持参してもらう。感染症一覧表にて予防接種状況を把握。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者持参の昼食なので対応はされている。クッキングの際、アレルギーの子どもは保護者の確認し行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全に配慮して支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	おたより等にて周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例を共有し、必ず話合うようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	勉強会を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現在身体拘束が必要な児はいない。身体拘束の勉強会を実施している。	身体拘束が必要な場合、家族への十分な説明と同意を行い、安全に配慮して計画に基づいて行う。	